

第3回懇談会 意見・感想等とりまとめ

資料 2

<農業分野>

	意見・感想等	市からの回答
1	農地貸出制度を活用して市民農園を開設したいが具体的な手続き、費用等について説明が欲しい。	市民農園を開設するために農地を借りるということは現行制度では難しい。詳細は個別にご相談をいただきたい。
2	市内の農家が生き残っているのは、各人の企業的努力の結果であり、農業を市内の産業として残すのなら、税金等の理解が必要である。	農業が魅力・活力ある産業として営まれ、農業経営が継続できるよう、関係団体との連携などにより、より有効な支援に努めていく考えである。また、国の制度に関しては、東京農業会議などを通じて、積極的に意見を申し入れていく。
3	農家の販売チャネル拡充のために現在の農産物直売所だけではなく、羽村市内に「道の駅」を開設し、人のにぎわいを作っていくのはどうか？羽村市でも他の農家を差別化を図った特産品の改良も期待したい。	農産物直売所を「観光」の視点で有効活用することは農業振興にもつながるものとする。農産物の特産品開発については東京都の普及指導員による指導とJAにしたまの協力により取り組んでいるところである。
4	羽村市内での農家の殆どは不動産賃貸業との兼業が多い。ある意味農業単体で収支をアライにする必要がない農家も多いため、行政側としても抜本的な支援体制の流れに繋がらないのでは？（予算等の割合）羽村市では農家単体でも事業として成り立っていくというビジネスモデルを策定し、就農希望者や既存農家向けに指標を作っていく必要があるのでは。	兼業農家として営農を継続できる体制の整備も必要と考えているが、それと並行して農業単体で事業継続できるような支援を検討していきたい。また、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想で指標は定めている。
5	産業分野間にもたがる事項でも述べましたが、TAMA協会では第六期中期計画(2021～2023年度)において、食品部会の新設を検討しており、その中では食の生産にあたる「農業」も、重要なテーマとして位置付け、取り組んで参りますので、市内事業者にも積極的にご参加いただきたいと考えております。	異業種連携についてもぜひ推進していきたいと、ご協力をお願いしたい。
6	農業は専業でなければならない理由はない、という考え方には賛成。兼業を推奨するつもりはないが、特に羽村市の経営規模を考えれば兼業ありきでの農業振興が必要。加えて、農外収入がある兼業にも農業従事者の仕方は様々で、農作業に携わる時間や農作業従事者数も様々である。ただし、共通して言えることは、農業分野での収益向上は目指すべき、という点であると思う。	貴重なご意見として承る。農家の収益向上に資する支援策を関係団体などとともに研究していきたい。
7	皆さんの意見を見て、羽村市の農業構造は、専業・兼業、農地規模、農作業に充当できる時間など、様々な農家層がいることから、 ・生産技術としては、それぞれに適したロボットやAI、IoT等を活用した技術導入 ・新たな販路確保としては、共同直売所を核として、POSシステムと連動したリアルタイムの商品情報提供、これを活用した宅配デリバリー「はむ宅」とのコラボは面白い ・狭小な農地しかない農家でしかできない、きめ細かい管理で生まれる超高品質・高級野菜、一般の農家では生産しないメジャーではない農産物の生産の取組 → 現在取り組んでいる「羽村愛情野菜シリーズ」に加えて、例えば「小さな畑で生まれたおいしい野菜シリーズ」こうしたことを考えていく必要性を感じた。	仰られるような各種支援は有効だと考える。可能であれば、ご協力をいただきながら実施の検討をしたい。
8	資料2「(1)羽村市農業の現状・課題・・・〈意見・感想〉」の29番30番は、早急に検討してほしい。	農産物直売所の活用について、様々な手法を検討し、活性化を目指して取り組んでいく。
9	学校給食で有機農産物を使用する取り組み。 人流や売り上げといった個々のデータを組み合わせる。 人流交通網を整備。 ・生産者と消費者 ・流通システムの確保 ・価格⇄工夫  「安ければよい」「一円でも安い買い物」 しかし 「安いことはいいことばかりではない」 という価値観大事！  持続可能な支援⇄必要です。	市内の学校給食には、既に市内農産物が使用されている。  他の分野とも連携した「地産地消」や「食育」などの取組みも検討していきたい。
10	<pre> graph TD     A[農家] --&gt; B[農地転用⇄相続放棄]     B --&gt; C[宅地・駐車場へ]     C --&gt; D[農作物の販売]     D --&gt; E["市民農園 (消費者⇄生産者)"]     D --&gt; F[シニアの副業]     G[農地として活用] --&gt; H[公園→バーベキュー施設・宿泊施設]     G --&gt; I[緑地帯・遊歩道・サイクルロード]     I --&gt; J[温室・温泉施設 (太陽光発電)]                     </pre>	農地の減少傾向は顕著にみられているが、地域に根差した農業の推進や多面的機能を持つ農地の保全に積極的に取り組んでいく考えである。  個別の施策については、施策立案にあたっての貴重なご意見として取り扱わせていただく。

11	No. 2, No. 27 振興計画に提案したいいい意見です。東京都の推進する事業へ、羽村市としてどうか関わっていくべきかの具体策を検討してほしい。	ご意見を参考に、施策立案を検討していきたい。
12	<追加の意見> 近隣の農業高校との交流、農業高校の先生や学生の活用などを考え、羽村の農業資源の活用を図る。	ご意見を参考に、施策立案を検討していきたい。
13	どのような規模の農業の振興を考えているかは、前回、今回の資料では不明であるものの、自家消費、知り合いに配布等の小規模と思われる農業とスーパーや市場、農産物販売所などへ出荷している中規模農業に対し同一の振興策を考えるのは無理があると思う、生産量等での層別の上施策を考える必要がある。 資料2 No.31市からの回答にある「市内農業者の実態について把握を務めるとともに、・・・」が実施されることによる適した施策が期待される。	ご意見を参考に、施策立案を検討していきたい。
14	乾燥野菜の製作販売について前回意見を申し上げた。 今回、中小規模農家でも取り組める農産物や加工品についてWebであちこち探してみたところ、エディブルフラワー(食用花)に行き着いた。 観賞用花卉は一般に知られているが、食用の花はそこまで一般的ではないと思う。 市内で取り組んでいる農家さんが有るか否か、興味をもたれるかは不明ではあるが、新しい?商品開発の候補になるのかなと思う。	高収益化を目指す取組みとして、ご意見を参考に研究していく。